

会議録（1）

会議の名称	令和6年度第1回入間市上下水道審議会
開催日時	令和6年11月25日（月） 午後2時00分開会・午後3時10分閉会
開催場所	入間市市民活動センター3階 活動室1
議長氏名	入間市上下水道審議会 会長 相葉 学
出席委員(者)氏名	福島 和弘、岸本 貴志、永井 儀男、小島 雅子、奥富 茂生、 小川 晋、村井 秀雄、佐々木 恵巳子、田中 啓子、 宮寺 弘隆、市原 義道、久保田 清美、池上 公子、青山 友子
欠席委員(者)氏名	一
説明者の職氏名	3 報告事項 ア・イ 上下水道部参事兼上下水道経営課長 藤田拓也 3 報告事項 ウ 上下水道経営課 下水道経営担当 長山 徹
会議次第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 審議委員変更に伴う委嘱状の交付 埼玉県企業局推薦（水道管理課長 岸本氏） 3 報告事項 ア 令和5年度水道事業会計の決算について イ 令和5年度下水道事業会計の決算について ウ 経費回収率向上に向けたロードマップの策定について (下水道事業) 4 その他 5 閉会
非公開理由	一
傍聴者数	なし
配布資料	・令和6年度第1回入間市上下水道審議会会議次第 ・席次表 ・令和5年度入間市水道事業損益計算書（参考資料1） ・令和5年度入間市水道事業貸借対照表（参考資料2）

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度入間市下水道事業損益計算書（参考資料3） ・令和5年度入間市下水道事業貸借対照表（参考資料4）
事務局職員職氏名	<p>上下水道部　　晝間上下水道部長、豊泉上下水道部次長</p> <p>上下水道経営課　　藤田参事兼課長、山川主幹、長山副主幹、 豊泉副主幹、鈴木主事、小野寺主事補</p> <p>水道施設課　　内沼課長、野口主幹、山田主幹、萩原主幹</p> <p>下水道施設課　　高野課長、熊倉主幹、田中副主幹、高田副主幹</p>
会議録作成方法	要点筆記

会議録（2）

議事の概要（経過）・決定事項

○委嘱状の交付

大久保浄水場の長嶺委員に代わり、令和6年4月1日付で県水道管理課長の岸本委員が新たに上下水道審議会委員となったことから、委嘱状を交付した。

○審議会の会議録

署名する委員については、小島 雅子 委員が指名された。

○報告事項

ア 令和5年度水道事業会計の決算について

イ 令和5年度下水道事業会計の決算について

ウ 経費回収率向上に向けたロードマップの策定について（下水道事業）

3件の報告については、「異存なし」となった。

○その他

事務局より次の事項を説明

・第2回埼玉デザインマンホール人気投票キャラクター部門にて「茶娘デザインマンホール」をエントリーした。投票期間および方法は令和6年1月1日（金）～令和6年1月13日（金）の期間に埼玉県公式ホームページの電子申請システムで一人一票のオンライン投票で実施。

・令和6年度第2回の上下水道審議会を令和7年3月頃に予定している。詳細については、詳細が決まり次第、通知する。

・報告以外で審議委員より意見があったため、下記のとおり記載。

会議録（3）

発言者	発言内容
相葉会長	<p>(開会の挨拶、審議会開催にあたっての注意事項)</p> <p>3 報告事項</p> <p>ア 令和5年度水道事業会計の決算について (説明者：藤田参事兼課長)</p>
市原委員	<p>資料1の業務量にて、配水量が減少し、自己水確保率も減少している。</p> <p>以前の説明の中で鍵山浄水場の水質は良いという話を聞いていたので、自己水確保率を上げた方が良いのではないか。何故、自己水確保率が下がったのか気になる。続いて資料1の収益的収入及び支出で前年度と比べて収益は増加し、費用は減少していることが読み取れるが、表記されているもの以外に何かあるのか。金額的にみると他に理由があるように感じるが何かあるのか教えていただきたい。</p>
内沼課長	<p>県水の使用量については県に申請しています。県水よりも自己水の方が費用はかかるため、配水量については、ある程度県水で賄って、自己水の方も確保するという形にしております。</p>
市原委員	<p>納得しかねるが、前回の鍵山浄水場の施設見学の際に良い水を作っているという感じで説明を聞いていたが、県水が安いから良いのではないかということになると鍵山浄水場で水を作るのを止めて県水だけで良いのではないかという風になる。その辺は何か理由があるのか。</p>
内沼課長	<p>県との取り決めの中で県水の使用量を決めている。今後また、水需要が減ることになれば検討していきます。</p>

発言者	発言内容
豊 泉 次 長	<p>県水を購入するにあたり、入間市の浄水場で自己水2割、県水8割という協議がされており、約2割をベースに水を作っています。毎年多少は数値が前後するため、今回のように自己水の割合が下がる時もあります。鍵山浄水場で水を作り、確保することは危機管理的な意味も含めています。入間市の場合は県水を受水するにあたり、末端であることから県の浄水場から距離があり、地震等災害が発生した際には県水が受水できなくなる可能性があります。また、自己水確保率については、必要に応じて、県と協議していきます。</p>
藤田参事兼課長	<p>2点目の質問について回答いたします。令和4年度に南峯配水場の廃止に伴い、配水場の土地を一般会計に無償譲渡したことによるものと南峯配水場の解体に伴うものが特別損失として約3億円計上されております。そのため、令和4年度は赤字ということでしたが、令和5年度は通常通りの費用計上に戻りましたので、資料1のとおりの結果となっております。表ではなかなか読み取れない部分ではございますが、費用が減った理由については、特別損失があったということでご理解いただければと思います。</p>
宮 寺 委 員	<p>水道料金について、先日、県水の値上げの記事を見たが、当市としては県水の値上げと一緒に値上げを考えているのか。それとも県水の値上げ後の決算の状況をみて検討するのか、考え方を聞きたい。</p>
藤田参事兼課長	<p>埼玉県が7月1日に報道発表した資料では、現在1立方メートルあたり61.78円である県水の値段が令和8年4月1日に76円となり、約23%上がりますという内容です。これから始まる議会で条例改正を行うということですが、現時点で県ホームページを見ても公開はされていないため、まだ不確かな状態でございます。当市は自己水が2割、県水が8割と</p>

発言者	発言内容
	<p>いうこともあり、県水の購入費用が上がるということで、経営には非常に重大な影響がございます。今後10年の計画である上下水道ビジョンを策定する中で、費用がどのくらいになるのか見据えた上で、様々な判断をしていくことになりますが、審議委員の皆さんにご相談させていただきながら計画を進めていくことになります。</p>
	<p>イ 令和5年度下水道事業会計の決算について (説明者：藤田参事兼課長)</p>
宮寺委員	<p>処理区域内戸数と水洗化戸数の差が1,200戸以上あるが、下水道に接続できるにもかかわらず、接続していないことによろしいか。</p>
高野課長	<p>処理区域内戸数に対しまして、現在のところ、下水道に接続されていない戸数の残り差ということで、1200戸になります。</p>
宮寺委員	<p>未接続の世帯に対して、接続のお願い等はしているのか。</p>
高野課長	<p>未接続の方につきましては、職員の訪問等による個別訪問を行っております。毎年お願いしているような状況で、少しづつ下水道へ接続が行われている状況となっております。</p>
	<p>ウ 経費回収率向上に向けたロードマップの策定について（下水道事業）（説明者：長山副主幹）</p>
市原委員	<p>使用料改定想定の時期が令和11年となっているが、この時期でよいのか。県水が令和8年度に上がると資料で説明を受けたわけだが、下水道に</p>

発言者	発言内容
長山副主幹	<p>ついても既に検討されていると思っていた。</p> <p>令和11年度の使用料改定の検討については、あくまでも見込みです。下水道につきましては、今後、県の汚水処理単価の改定等も見込まれているので、状況等も見据えながら上下水道ビジョンの経営計画の中で示していく形となります。上下水道の料金改定も併せて計画の中で示していく予定であり、検討するにあたり期間が必要でございますので、望ましい料金改定のスケジュールをイメージしております。現時点で決定という訳ではございません。</p>
市原委員	<p>水道料金が上がれば下水道料金も上がると思っていたが、そうではないことが分かった。2点目であるが、元旦の能登地震の件で、上下水道の復旧が遅延していることから、当時の岸田首相が全自治体に対して、耐震化状況の全国調査を指示したと思うが、報道では動きが見えなかった。埼玉県や入間市の動きを教えてほしい。</p>
高野課長	<p>上下水道を併せた耐震化計画の状況につきまして、中間報告として11月1日に全国の市町村状況の調査状況を報告させていただいたところです。それぞれの自治体によって、入間市も含めてなんですが、今後、令和7年1月を目途に上下水道一体とした耐震化計画を策定する予定で進めているところです。</p>
市原委員	<p>国から補助金が交付されるのか。もし、交付されなければ、結局は市町村民税が上がったりして補填する形になるのではないか。</p> <p>国も明確な回答を示していないですが、国庫補助金という形で捻出する形で考えているようです。</p>

発言者	発言内容
市原委員	現状調査を報告してほしいということで進展していないということですか。
高野課長	現状、市町村に求められているのは、どんな状況なのか、今後その状況をどういう風に進めていくのかというところが、次に求められている状況になっております。
市原委員	不明水は、具体的にどのような水のことをいうのか。
高野課長	汚水処理量とは、生活排水、トイレ、台所、洗面等の排水が主なものになりますが、それ以外に最近多いのが、豪雨等による地下水の浸入がありまして、そのような、本来、流れるもの以外のものを不明水といっています。
市原委員	雨水として側溝に流れていくものは不明水の対象外であり、それ以外に管の亀裂から紛れこんだものをいうのか。
高野課長	老朽化に伴いまして、亀裂や隙間から少しづつ入ってくる雨水や地下水を含めて不明水といいます。
市原委員	耐震化も少し関係があるということか。
高野課長	老朽化対策も含めた話になりますので関係があります。
相葉会長	他に意見がなければ事務局より報告をお願いします。

発言者	発言内容
豊泉副主幹 鈴木主事	事務局より報告（会議録（2）の「その他」参照） (デザインマンホールについて紹介) (次回の予定について)
相葉会長	物価上昇により、水道料金がいつ上がるのか審議会委員の皆さんだけでなく、市民の皆さんも非常に気になるところなので、前向きに内容について聞かせてほしい。また、耐震化をぜひ進めてもらいたいという意見が毎回出てくるのでしっかりと検討してほしい。
豊泉副主幹	全体的なこと、その他審議委員の皆さんから何かご質問等をいただければと思います。意見はございますか。
久保田委員	漏水対策を地道に計画的に行っているところだと思うが、前に、イスラエルの企業が人工衛星をつかって、地域全体を一括でチェックできる技術がありまして、一部の市町村で行っているという記事をみたことがある。費用対効果の問題もあるが、時代の先端といえるような技術について入間市としては考えているのか、それとも従来通り進めていくのか教えてほしい。
内沼課長	ご承知のとおり現在は市内を3地区に分けて、音で聞くような人海戦術で行っているのが事実でございます。技術が進んできている中で費用対効果とかを含めて、研究していくべき部分ではあると思いますが、そこまで至っていないのが事実でございます。今後、各自治体での結果を踏まえて研究しながら導入について検討していきます。
岸本委員	今の質問であるが、県議会でも同じような質問が出されていて、埼玉県内でも一部試験的行っているところであり、そのあたりの情報を見てもら

発言者	発言内容
	<p>えればと思う。結論をいうとあまり良い成果にはなっていないものと聞く。結局、最後は修理しなければいけないので、当たり外れがある感じになってしまうことと、地域の土壤分の分布図とかある程度、無理矢理データを集めて行い、最終的にはその市町村の漏水の過去の履歴とかデータを出す。そのようにすると当たり前のようにその漏水の多い地区がわかるのでそんなにお金をかけなくてもわかっていたというような結論になる。3,000～4,000万円位の費用が必要になるので、優先順位を決める時には、やはりその地区によって本日も様々な地区の方が来ているがいると思うが、対外的に説明するツールとしては、そういうもので漏水が多いというようにITによる説明がしやすいのではないか。</p>
池上委員	<p>この頃、自然災害等が多いため、ライフラインについては市民の方も敏感になっている。先程マンホールの蓋の話が出たところであるが、以前マンホールの会社を見学したときに、そう簡単に外れないマンホールがあるということを知り、気にしているところであるので危険性がある場所に対してマンホールを隨時交換していただければと思う。計画段階という場合もあるが、やれることを進めていただきたい。また、能登地方で夏の大霖の時にとても不便だったという報道がされていたが、水を提供する場所は市内等で決められているのか。</p>
高野課長	<p>マンホール蓋の関係ですが、今言われたとおり、新宿区で蓋が跳ね上がったことがあったと思います。老朽化に伴って、マンホール蓋を交換している箇所につきましては、マンホール内の内圧に耐えられるように一旦少し浮上してガスが抜けるような蓋に交換を進めております。新しいものに、順次、交換していくことになっていくと思います。</p>
豊泉副主幹	<p>2点目の質問について回答いたします。防災計画の中で市役所と地区セ</p>

発言者	発言内容
	<p>ンター9か所を応急給水拠点と定め、市民の方には飲み水等を取りに行ってもらうことになります。災害等が生じた際には最初に情報収集を行い、次に各地区センターに仮設給水タンクを設置し、タンクに水を注水します。そして、給水車で各地区センターに水を運んでいくという作業を繰り返していくことになるのかと思いますので、日数が経過すれば他の避難所に水を供給することも可能かと思います。</p>
藤田参事兼課長	<p>補足になりますが、来年度については審議会の回数が少し増える状況でございます。審議委員の皆さんにご検討いただく内容が多くなりますのでご承知おきいただければと思います。</p>
福島副会長	<p>物の値段は需要と供給、市場込みで決まるが水道料金は公共性の高いものなので市場原理に任せるという訳にはなかなかいかない。これから難しい言葉や知らない言葉がたくさん出てきますが、皆さんで勉強し、よりよい正しい水道料金になるように、よりよい水道の運営ができるよう頑張っていきましょう。</p>
豊泉副主幹	<p>以上で令和6年度第1回上下水道審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。</p>

議事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和6年12月24日

議長の署名

相楽学

議長が指名した者の署名

小島 雅子